

60

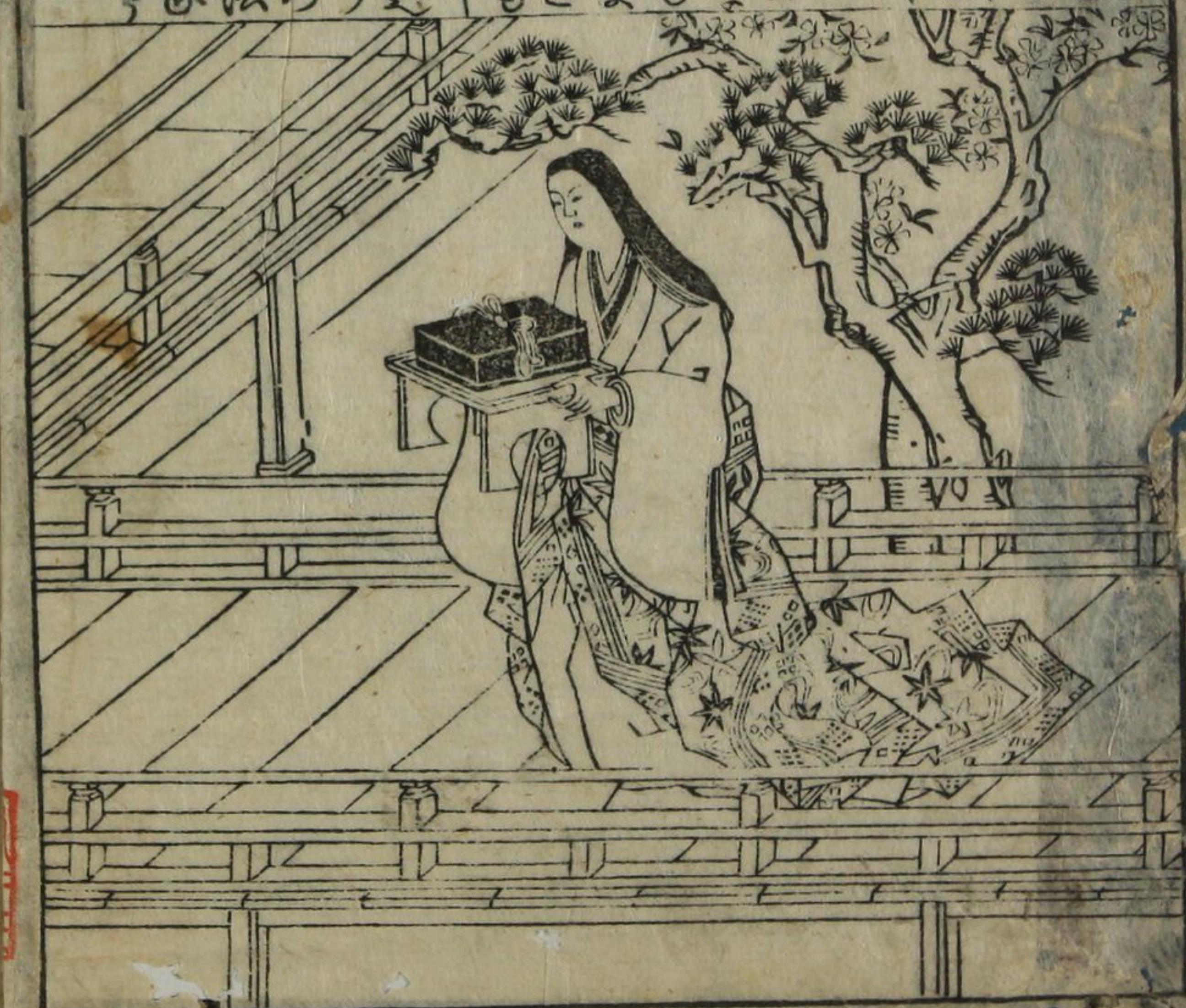
70

80

90



金の事より
かやまきにて
ては、くわまわひと
本十三をうちよしてくひ
ゆくよるくをよがりとく
りをわくわりとくと
一任おひ七条のまことの女
わくぬよもくみきこな
くまくまうづくやく
そよがひのあひよ
まとわくすともきこま
西家集ひのきもがる
くれくともうひとく
ユキくさくとくとくとく
ひ作若とくとせんきわく
ひくわくとくとくとく
れりうにふとふとく法
のまくとくとくとくとく
のまくのまくとくとく
のまくのまくとくとく



侏
勒
勒
勒
勒
勒
勒
勒
勒
勒

おまへん！

源融寬平七年八月薨。年十三。於在中將非譽先達如何。

卷之三



四

あひるの。ふくよおはらはまち。
の射。まもりあきらかにとがいよあそて。ば
あきらめり。かくひくとひ月の十日とうり
うかどよがりよかくよもり。まことあらはまく
のゆく。かくひくとろくまわくをとく
りとぞひく。とくあくまくをとく
りあらはく。とくとあくまくをとく
みまきども。とくとあくまくをとく
ねまき。とくとあくまくをとく
とくとあくまくをとく
琴。月やあらまやまくらう。あまひとも。のと
とくよくわらわのとくよくわのとく

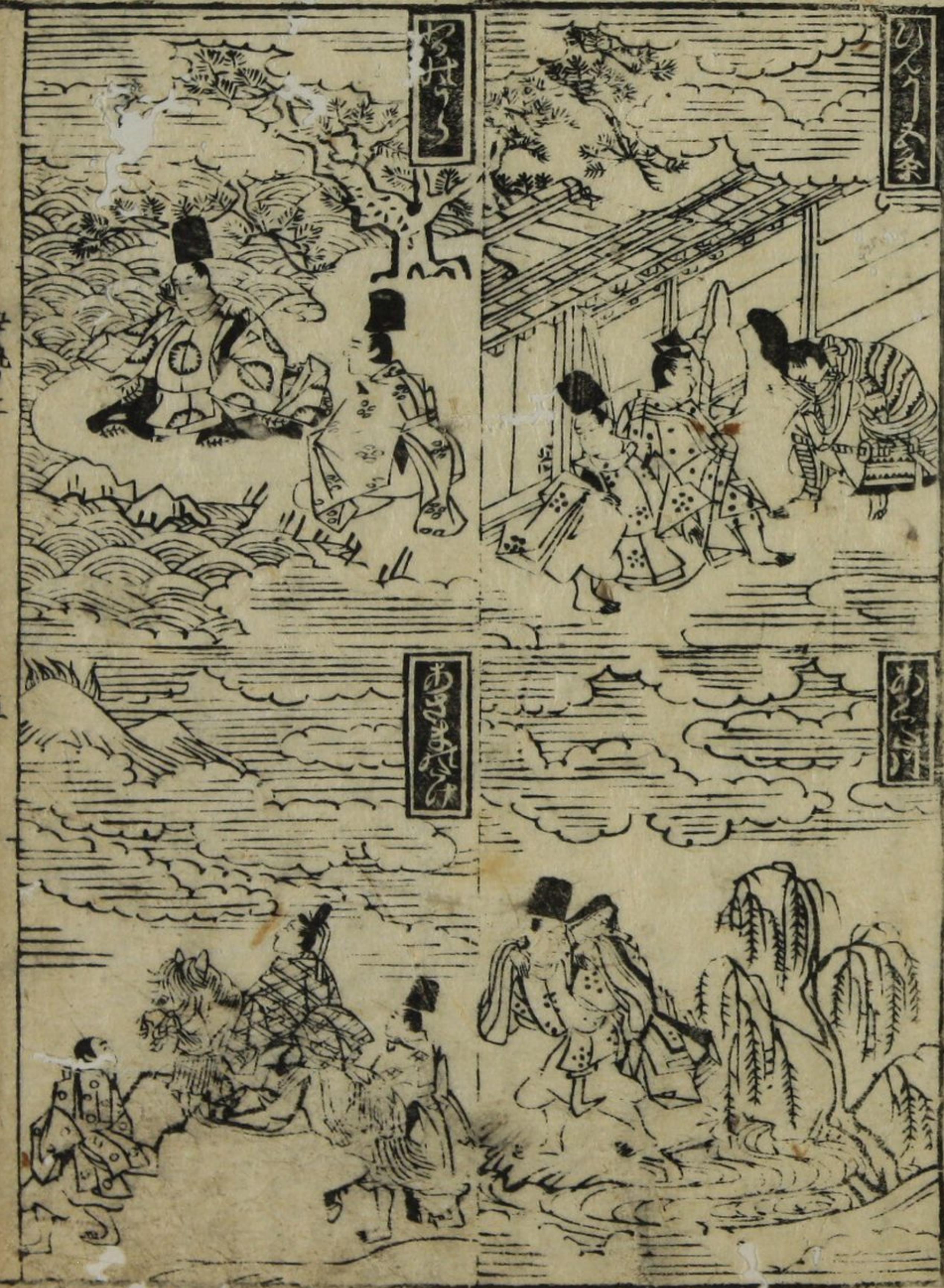
五

卷之二

6

あくまでもうひと人のじき財をもとめなくてはならぬと覺
え。高子元年四月為中官高子元年四月為中官
あれ。二条乃の居城とこの事に附れり。

まよひとむいておとせうひ
ゆく。そぞの國あそびあけよ煙のふりを
もあまあまあまのふきを立煙もそちのあはれ
首ありげやまく黒月とえうきあはれ
て。まよはしがだのえよ。とじくほりとめア
びぐり。とよながとすうへ
りきたり。そらもくろい人もなして、まよひきくらみ
その國八とくすくやまくらわ。とことやじと
ひきえ。水ひきの。とくとくわが
よ。とくとくわが。とくとくわが。
りよ。とくとくわが。とくとくわが。
とくとくわが。とくとくわが。



ほぐれとくさんじゆく
かくはんじゆく

わが身のまゝの事もあへぬ

と。まぐりえれば、あれどひわく。消滅してからじよろ
いゆきくちゆ。もうがめよ。うの山よ。うそそ。
せんとももかう。たいつくらす。やまとよ。ほくとくとてふを
まわんが。まごろきうめ。みち。も
めあひうり。ゆふも。も。ひ
るべが。人を。まよ。まよ。のび。ゆと。いと
むく。うなう。うたのみ。のうも。まよ。まよ。人よ。わらなう
篇。山と。みま。ば。月のう。と。かりよ。まよ。と。も。うう。す
り。轍と。門。ら。山。あ。の林。月と。まよ。まよ。に。ち。わ。の

の山へあそびたとひびきえの山と。もくらもりどりからひゆわ
ぎくわんわくすなりはとくわくわくわくわくわくわくわく
九早之不用之注年有尋向人語不知由々
或說云塙虎橐塙ト云物有其虎此似山物語習故好早討寂蓮村信用先人今下織堆爲塙事

كَلْمَانْ

おはしより。まづ、人公もやうやく
と。まわらえれど。あわざまづかくよき

男。ひきれ國をもよどりありまつり。さも田ノ
ある。女とよひひきは。と人よあへせんと。ひきを
母を。うきよ。ひづもありたり。又公が後今も母を
ひ。翁永きりたる。おなんがくちり人。また思ひきじ
まき。さうぞととくをうりひ。ともじふがんづま
り。あわら。かづの。室なりき。

ムニシテハシマリ

と。すんべのまゝも。れぐるをあすんやうぢりくる。
首男。あづま。ゆにきくに。なごみつだ。しら。よも。づひ。せき
捨遺。もく。まよ。往。かく。井。に。なう。ねとも。空。ひ。月。の。か。う。り。あ。ま。ど
首。あ。と。こ。あ。く。り。人の。じ。も。め。と。盜。も。じ。く。時。あ。て。り。く
わ。と。に。盜。人。が。り。え。バ。國。の。う。き。よ。が。く。や。れ。よ。く。り。女。と
ぞ。ま。し。の。ゆ。い。と。く。よ。び。小。く。り。え。も。ち。く。あ。ん。び。跡
も。り。人。あ。れ。う。と。く。ゆ。ほ。き。ん。と。く。女。ま。く
東。も。じ。壁。分。く。あ。き。あ。や。ま。と。あ。ま。れ。や。も。あ。れ。る。ま。ま
也。淡。く。り。と。す。ま。く。女。そ。び。と。り。そ。と。と。も。に。か。そ。い。ふ。く。り
首。も。さ。く。な。う。寫。え。な。う。女。の。れ。じ。い。こ。あ。れ。ど。も。び。く
穿。く。絲。も。く。く。と。か。ひ。く。う。く。れ。よ。む。じ。あ。づ。く。と。く。ま。そ
を。こ。き。く。の。ち。も。と。も。せ。び。な。よ。く。れ。ぞ。ま。よ。り。よ。り。よ。



首ぞらの國も。あざうとれど人のやよ。うそひうす
あやもよ。あやもよ。りえきせとももゆうば。みこくは
あくよ。あくよ。びとくもくもくもくもくもくもく
女うだりをくわどにとくどく。あらがなれ。夷ふと。かくそぶふくせん
じう。きのあくわひととくふくまくわり。すま。えすどよ。うすま
ひうて。とくよ。あらひゑどのちへ。せうう。けうけうよ。くれ
よ。あらわ人の。じとわわうべ。今く。かうたく。う。あくく
うすく。れ。あくく。とくふくとくふく。かうく。う。あくく
れ。あくく。時ひふく。よ。あつて。よ。あくく。とくふく。とくふく
く。じうめ。やうく。とくふく。う。あくく。とくふく。とくふく
あくく。に。うく。あくく。あくく。あくく。あくく。あくく。あくく
中高内侍文庫

古今の文豪とあふてこそ能稀矣。此は弟生公の筆

月々かきかわせへもひそむにまつともはと
る。すくなくあらせあらうふ。男じつてうらや
うれび。うれびとて、萬へのうつうぶ。わざ
れを身に。身ひづる萬のね。ねも身よ
りと。らしくまつり。まつり

紅よもやか。うのまく菊はれりきく人代えくもみ
青。あらげてくろ。女のきよがくちをりけりん。とあじ
まくらりきく。絆もなき。よもやりむれ。とくろなれ。ば女の
死す。かわらゆ。男がわらみのう。とあるひく。が
死わゆ。ともふくのさくゆく。ふめふい。あらわく

と、より多くが、
古今

も。もうまきひも。黒あくべとちひづり。
着。男。やまとねあわ。せうどくもじてわいよろり。極。とて
えびす。もろんきりくれい。はりくろよ。やさひじとうりア
うそくへりみぢらめ。もぐるもくわてせの井。井よひや
もくす。たとくねがまく。かくよう物の紅葉。よくなれ
とて。角りくわ。れ。とくもく。ゑよこううがて。けり。とく
うひまく。せふきのうわん。もく黒よがまくす。角ら
着。男。せうどくもじ。とくひづり。とくひづりまく。う
れ。まくをくらぶ。とくひづり。とくひづりまく。よのゆーじ
とくひづり。とくひづりまく。よのゆーじ

いふれども心を失ひ人を失は
と後を失ふ事もよからぬ。まことに
よき事なり。とおもひてからん。
うなづくづかうるゝ事ありてかとて
あれど、とくにりしむじゆうの事
思ひひなむ。もううり年月をも
とひしきなむ。そり
今やまじひやをひきあへにひくみしき
あひとひうをひく。翁の事もあ
うるひとせら
とひそくまくまく人のよきせらむ

五



にまことに。さつきあわてぬ。かのじよもあはれ
とひしれど。あせりよくあれば。はようり
第。まことて。おまかやだ。あまきまき。せの。けり
日。うちあく。人。まき。とも。まき。羽。も。まき
と。し。まき。まき。まき。まき。まき。まき。
あひ。まき。まき。まき。まき。まき。まき。
とひ。まき。まき。まき。まき。まき。まき。
まき。まき。まき。まき。まき。まき。まき。

娘のあらじよは、一もよすをりとく。多繁あつても、やうん
ゆめへよりと、ありふるまことすんが、すくいきう
ある。あゆ、まくは、ひくきう人の手、とも、せせりあつ。
あそび、まくは、あくねよ、成よ、えられ、ばすも、せも、ぢぢう
て、ぢぢう、氣も、男心も、きの女を、うそ、えあと、思ふ。女を、
と、思ひつて、わやみあつて、まくは、まくは、うそ、
えあと、わやみあつて、まくは、まくは、うそ、

もとよりかかわらぬまほじてゐるあくま
すとひそびぬがゆふとあひよろひて年は

あらねよ。せぢやな。だよりをくめまふりうど。と。小
さくひきそ。わんやいと。がちられ國をも。かのま
わりよ。まくよ。あがくよ。あり。さりえど。ごのりの
女あ。と思へ。あ。まく。まも。まく。て。せ。やまく。れ。が。男
と。を。の。り。そ。が。れ。ま。や。け。ん。と。を。ひ。う。こ。う。ひ。せ。ん
ざ。い。か。ま。に。う。れ。わ。く。か。う。ち。へ。つ。み。う。や。か。く。が。き。ば。ま。み
と。よ。う。あ。行。く。と。う。ち。な。ま。く
皇。國。は。あ。ま。く。ま。く。吸。あ。く。ま。は。ま。ひ。と。と。も。流
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
威。よ。き。ぎ。れ。く。あ。の。う。わ。く。ま。く。く。れ。ば。く。じ。め。と
が。ふ。く。も。ほ。く。り。き。と。う。ち。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
い。じ。が。ま。よ。う。り。せ。り。く。れ。が。せ。す。と。の。う。と。か。や。ま
わ。き。え。が。あ。わ。り。や。う。と。ま。流。い。こ。ま。山。ま。ま。に。じ。そ。あ。滑。と。
と。と。ひ。く。く。ひ。く。ひ。く。が。じ。し。て。や。ま。と。く。人。く。と。づ。り。と。
あ。じ。く。ま。う。と。と。び。く。く。と。く。れ。ど
ゑ。あ。ん。ら。い。ま。あ。と。と。と。と。と。と。と。と。
せ。い。ひ。く。れ。ど。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
る。男。が。『あ。中。に。住。き。る。男。が。』
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
ま。う。に。あ。の。男。ま。ま。う。り。く。り。び。く。あ。ま。経。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

ト。ジハヤシニモモリタス。

الله رب العالمين

وَمِنْهُمْ مَنْ يَرْجُوا
أَنْ يُؤْتَوْهُ مِنْ
آتَاهُمْ رَبُّهُمْ
أَوْ أَنْ يُؤْتَوْهُ
أَوْ أَنْ يُؤْتَوْهُ

トモハシテアリ。トモハシテアリ。

ある男。ありのうりはじとくわいとくわい
うるが。りくふ。ひひやつまける

色のまゝにせぬ

前題の事もあつたが、此處の事は、
必ずあつたのである。が、
男の事より多く、女と云ふ事
もあり、多くある。

あ。の。ど。社。よ。入。る。の。か。心。か。わ。じ。お。れ。は。じ。ご。う。り。
背。男。女。の。り。と。い。一。身。ひ。く。ま。も。ひ。ぐ。べ。が。よ。く。れ。ご。お。

我よりやへんもあひとどくあれトふと
ち。うそと。いざりきりあとこくちゆす
るふにかのりあらんうがま水の下よそり
む。えきのまづくさう。せつてくじよくれど

などそくあかがみよみよろん水りのとひひとの

貞觀二年八月貞明親王為皇太子時高子為女郎依春宮御母号ニ
去年十一月八日誕生高子年廿七

翁。まえの。女御の。泊。おの。おの。おの。おの。

おの。おの。おの。おの。おの。おの。おの。おの。



東今 いはく乃ちづるをじまにしりて首と今にしたる。もだ

と。づううれど、ふとと。うれやありくな

し。男たるほむりのものよりよきひなつ。せじとひ
すくへ。又あめいづらる。まくまくされど。たゞと
ち。芦色よりみちくはるひやまよゑよんとあひまくべ
にありはよふかとぞうが毎年かかのじこもくべ
井たる人か。とくまくはすやあや

し。男はまうなりける人のりと

いへばえよ。もひじひじよ。がれくむひよ。がくくよ。

おもなくよ。れきよべ

し。あくもあくと。だくと。人のりと

ひ。まくわふ。あくと。ひじく。女。の。りと

うせぐ。ままで。も。あ。も。う。た。と。今。あ。も。う。と。ど

し。もと。も。う。の。と。う。り。う。女。よ。あ。う。う。り。う。

ろ。や。く。や。あ。ひ。う。

我なうて。ト。ね。く。あ。鶴。角。タ。け。ま。ね。花。よ。か

く。あ。じ。く。鶴。ひ。く。鶴。ひ。じ。と。あ。ひ。う。と。と。と。と。と。と。

さ。う。く。鶴。あ。り。た。ひ。う。も。の。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。

う。

う。

淳和天子
崇子内親王母端承等正西

いたう。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

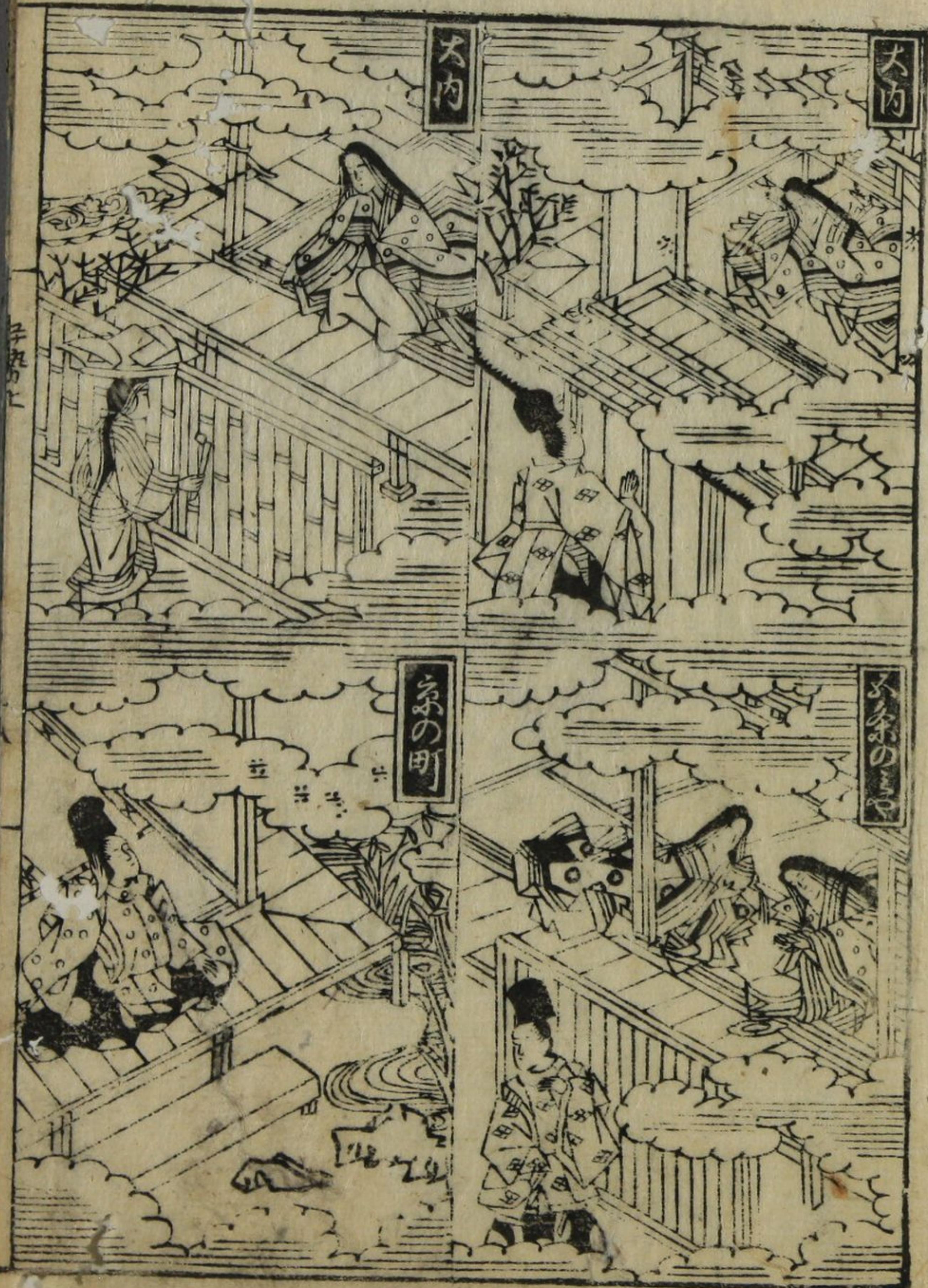
やんとびりおれ。そのまへ。やくらうなむとまうが。ゆもう
ゆすとて。車にあひのりて。びりりう。ひとえ。あそ。そ
そとまくを。うちなむく。かね。びりりう。ひふおもれ
あみちび。え。ゆく。つうとひふ。命。まとも。わみあは。あ
車と。女車。と。りく。と。く。が。ぬめく。あひ。よ。か
ゆく。あ。當。と。と。り。て。女。車。じ。べ。り。り。う。と。車。す。り。り。う
令。の。當。わ。と。り。く。す。や。乃。も。送。に。む。ち。は。せ。う。そ。事。黒。
出。く。あ。う。び。り。送。き。り。多。年。お。う。と。を。あ。ま。さ。

いと義をもよひゆくもうちで、まのとも騒ぐらば
あめりあめ。ちぎのこわす。すよてひなすはざわう。
ちもじぶかむねぢなり。思ひこわやいす

うりげ。まも乃まうべを。ひつむけふ。おらひとく

今ひがれまくふーなんや

る。さくらすかう。もとりハヤー。まわす。
ばくま。ひとり。あく。さう。写り。ひしけ。じや。まわす。
れ。さくらすかう。の。まく。あく。ひて。まく。まく。
まく。けり。むざく。ひ。まく。まく。まく。まく。まく。
ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。
ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。
ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。
ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。ざく。



わづかうらうりもとくせんをれどれゆくろくくらう
うとくよくもくよくえあはじくらうあり。なほもくえあくさり

新古

けへ。やうなりくねば。うりが。こくぶうり。そつてゆゑもえのぞ
新古

あくにあとづまゆか

新古

かじよたがもしらと今ハ

くう

新古

きのう

新古

うよ。よやううありけり

新古

賀陽親王植武寺セ母夫人多治比氏三郎治昌貞親十二年十月八日薨セ夫

新古

著。かや乃こもとす。見こあり。ほぐり。とみ。おとじ
新古

じもむひとかく。ざく。うそ。人まつまく。あら。新のう
新古

もけりと。めのこと。ちひく。と。人まつまく。あら。新のう
新古

と。もく。と。まく。あま。と。まく。あま。と。まく。あま。と。まく
新古

と。まく。あま。と。まく。あま。と。まく。あま。と。まく
新古

の。豈たゞ。さびわざうもぬ男。又よきえ

の。豈たゞ。さびわざうもぬ男。又よきえ

はく葉をもあう。風吹とすりよはせを
まごとす。おはじなまし。ばくとわざにま
ま。書かとうじにまがおりて。まくじ。めいひのう
とんの圓づれをとめられと。ひもがより。月見を
まくせう。みよがきぬへりえ。いつれを。月日めよけ
あ。と。まひまや。も。月ひよくと。じとく思ひよくは
ゆ。を。中。火の。むち。め。う。き。が。ま。れ。ま。り。あ
そ。ゆ。え。ま。と。づ。く。え。れ。ぞ。ま。そ。や。う

かくもおしゆる事に
考へ物語れども、男であつて
おもとまことにあつたる者

卷之二

あわきととねふとえたり。おもつてはまくせよ。通
むう。男。おとづり。もの。あれ。おとづり。とまく。人。
ごさう。まれ。

今えもんのあきやと人まじん里とば
松江とくわう

山居老學院

中村義成
計王
之
也



